

## 産業建設分科会

### 議案第83号 平成30年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

#### ○新設改良事業費 2億7,404万2,938円

**質疑** 地元要望に基づき、新設改良事業をどのように実施したか。

**答弁** 側溝や生活道路について、地元要望に基づき、毎年20件から25件の新設改良事業を実施している。平成30年度に受けた要望は45件であり、例年、実施件数より要望件数のほうが10件程度多い状況となっている。また、道路の維持管理については、地元要望にほぼ対応できているが、未舗装道路の舗装に係る要望については対応できていないところもある。

## 討論(要旨)

討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。(討論順)

### < 議案について >

#### 石田 秀三議員 (日本共産党)

議案第84号、議案第89号、議案第90号に反対  
その他議案は賛成

国保会計決算は2億8,000万円の黒字、支払準備基金残高は13億円余りになる。国保料が市民生活を圧迫しており、黒字額と基金の相当分を市民に還元するために、保険料均等割の

引き下げを求める。

上下水道料金引き上げ時の計算に住吉配水池更新事業への一般会計からの支援出資金8億円は入っていなかったため、市民に還元する水道料金の見直しをすべきである。下水道事業普及率は57%で、しばらくは建設に多額の費用を必要とし、一般会計からの持ち出しも多い。市民の負担をできるだけ抑えながら普及を進めることを求める。

#### 中西 大輔議員 (無所属)

全議案に賛成

幼保小学校の遊具撤去に関し、再設置などの際には公共施設担当部署も含め、保護者、子ども、地域の声を聞き取り組んでほしい。体育館使用料の値上げはやむを得ないが、市民の利用価値が高い施設運営の検討をすべきである。幼児教

育・保育の無償化に関する議案について、より良い保育環境が子どもたちに提供されるよう真摯な対応を期待する。一般会計決算は、おおむね妥当と考えるが、経常経費の見直しと圧縮に取り組んでほしい。公共施設整備基金は、財政調整基金からの積み替えや定額積立の制度化を期待する。決算議案全般について、黒字部分は、将来世代の負担軽減の原資であるという強い意志を持つべきと意見する。

### < 請願について >

#### 南条 雄士議員 (鈴和)

請願第2号、第3号に反対 その他請願は賛成

教職員組合と校舎長会が、長年にわたり一般の保護者には内容を知らせずに、PTAの名を隠れみのにした請願を提出し続けている。教職員組合が教職員の身分保障や政治活動のために保護者を利用し、教職員を管理指導す

べき校舎長会がそれを追認するという図式は、何も知らされていない保護者に対する背信的行為であり、決して認められるものではない。PTA会費を負担している一般の保護者は、PTAの名前を勝手に使われているだけで、教職員の身分保障のための請願を求めた覚えはなく、請願文書の内容にも何ら論理的整合性がないため、両請願に反対する。